

ユニバーサルミュージック(東京・渋谷)は、高齢者向けのダンス教室に楽曲の提供を広く、これまでも子供のダンス教育の支援などのために提供してきたが、認知症予防のためのダンス教室が人気を集めており、高齢者がなじみの深い楽曲に合わせて体を動かすことで、ダンスへのハードルを下げる。音楽に接する機会を増やし、CDの購買意欲を高める狙いもある。

# ダンス教室の曲 ABBAがいい



ユニバーサルミュージックは高齢者向けのダンス教室に楽曲を提供している

ユニバーサルミュージックは日本ストリートダンススタジオ協会(大阪)が関西を中心に主催する高齢者向けに楽曲を提供している。同教室には認知症予防のために参加する高齢

## ユニバーサル、なじみの懐メロ提供

者も多い。初心者でも簡単に始められるヒップホップを取り入れた講座が人気だ。定員を上回る応募があるという。同協会は2018年末からは自治体や大学などと組み、認知機能向上の測定ができる教室を開いている。参加費が無料の教室や、保険料のみの負担の教室も開催。ダンス教室で取ったデータは認知症予防の研究に活用する。ダンス教室を通じて、記憶力がどれほど向上したか測定できる。ユニバーサルミュージックはシニアになじみの深いABBAや越路吹雪などのほか、最近の曲でもよく知られたGRee

## 認知症抑制・CD購入も誘う

e.Nなどの楽曲を提供している。現在ダンス教室で使用されている楽曲は20曲程度だが、今後要望があれば使用できる楽曲を増やしていく。ダンス教室はまだテスト段階の試みのため、使用料を明確に決めていない。現段階では実費程度を協会から支払ってもらう。高齢者は新しい曲よりは、自身が若いころに聞いた曲などを好む傾向がある。そのため高齢者向けのダンス教室に旧譜のABBAなどを提供している。こうした取り組みにより、旧譜の資産の活性化にもつなげている。また、音楽配信サービスに不慣れたシニア層は特にCDなどパッケージ商品の購買につながることを期待できる。金融サービス企業のシニア顧客向けのサービスにも、同じようなプログラムをテストで導入している。今回のダンス教室をテストケースとし、シニア向けの商品やサービスを手掛ける企業とのコラボレーションなどの可能性を探り、さらに提供機会を広げていく。